

## 令和4年度 岡崎市立根石小学校 部活動に係る活動方針

### 1 本校の現状

- ・部活動を楽しみにしており、積極的に取り組んでいる児童が多数であり、保護者の理解・協力を得ながら実施している。

	終了	下校
4月1日～10月15日	16 : 30	～ 16 : 40
10月16日～31日	16 : 20	～ 16 : 30
11月1日～12月31日	活動なし	
1月1日～15日	16 : 10	～ 16 : 20
1月16日～3月31日	16 : 30	～ 16 : 40
春休み、夏休み、冬休みにあたる期間は活動無し		

- ・最終下校時刻は原則表のようにする。
- ・4年生以上の児童の自主参加とする。
- ・各部活動に顧問を3人以上配置する。

### 2 本校における課題

- ・活動時間の精選を進めているところだが、他の習い事や各種スポーツクラブをかねている児童が多く、部活動を含めると1週間休みなしで活動している児童もあり、家族と触れ合う時間の減少や疲労の蓄積が懸念される。
- ・限られた活動時間の中で、より効果のある練習内容等を模索しているところである。
- ・新型コロナウイルス感染症対策と活動内容の両立が難しい。

### 3 具体的な活動方針

#### (1) 部活動運営について

- ・学校は、適切な部活動運営を組織的に行うため、校長を中心とし、責任ある指導・運営体制を整備する。
- ・学校は、部活動の目標等を策定し、組織全体で共有するとともに、実情に応じて顧問会議を行う。
- ・顧問は、活動と休息を年間通じてバランスよく設定し、児童の成長や学業との両立に配慮するとともに、無理なく継続できる部活動を目指す。

#### 《本校の部活動の目標》

学年・学級の枠をこえた集団活動を通して社会性を養い、望ましい人間関係を育てるとともに、個々の個性・技能を伸ばし、困難に打ち勝つ強い精神力を育てる。また、「生きる力」を育成するため、試行錯誤しながらも達成した充実感を味わわず等、体力の向上や感性を育む教育活動の一端を担う。

#### 《今年度の重点努力目標》

- ①練習時間の量から質への転換を図る。
- ②経験則に基づいた長時間に及ぶ活動から、効率的・効果的な活動をすすめる。
- ③1年を見通した計画的な練習となるよう、年間、月間の部や個々の達成目標を具体的に設定する。

#### (2) 活動量（休業日や活動時間等）について

##### ア. 平日

- ・活動日は、週3日以内とする。（月、木曜日は休業日とする）
- ・各学期、チャレンジテスト実施前に一定期間の休業日を設ける。

##### イ. 休日（週休日及び祝日）

- ・日曜日は活動を休止する。

- ・日曜日に大会があった場合は、別に休業日を設定する。祝日は原則活動しない。
- ・毎月「第3土曜日」は、原則、年間を通して「休業日」とする。
- ・活動時間は3時間以内とし、長時間〔終日〕練習はしない。

#### ウ. 長期休業中

- ・原則活動を休止する。
- ・水泳部、音楽部…大会、発表会等の開催日を考慮し、校長の判断で臨時に活動を認める。

#### (3) 参加大会と練習試合について

- ・各種大会やコンクール等への参加、出場や練習試合等については、活動の成果を試す機会ととらえ、大会等の主催者や意義等を考慮し、各部活動の計画に位置付ける。ただし、参加する大会やコンクール、練習試合等については、精選をすすめ、過度な活動にならないように十分配慮する。

### 4 その他

#### (1) 保護者及び地域との連携

- ・活動方針や活動計画を保護者に周知し、保護者の理解を得た部活動運営に努める。

#### (2) 安全の確保と緊急時の対応

- ・活動場所の施設、設備、道具について、常にその状態を把握する安全点検を行い、安全管理に努める。
- ・熱中症を予防するために、炎天下における長時間指導を避け、休養や水分補給をこまめに行う。熱中症警戒値（WBGT）を考慮し、数値が高い場合は、活動を中止する。
- ・緊急の事態や不測の事態に対処できるように、複数の顧問の指導の下で活動する。
- ・校内で事故が発生した場合に備え、緊急連絡体制を整え速やかに第一報が入るようにする。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、活動前の健康状態の確認や活動中の体調管理を適切に行い、活動による感染拡大が発生しないよう保護者にも協力を要請しながら活動を進める。
- ・事故が発生した場合には、速やかに管理職及び顧問で事故原因を分析し、安全管理と指導の在り方について点検するとともに、再発予防対策を早急に講ずる。